

豊中の未来を描こう！！

発行 2017年3月

VOL. 125

年度末は
何かとバタバタ
しますね(汗)

豊中市議会議員
無所属

かんばらこういちろう 神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～




関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

クリーンランド議会予算審議報告


事業者のごみ処理費を市民が肩代わり??

～施設使用料の適正化を!!～

 事業者が排出するごみ処理経費は、使用する事業者が全額負担することになっているが、処理経費と施設使用料に大きなかい離があり、かい離分は税金で賄われている。つまり、市民が肩代わりしている。


処理経費と施設使用料のかい離を改定せず、税金で負担し続ける理由は? 具体的に、いつ、処理経費と施設使用料のかい離を無くすため料金改定を行うのか?

A. 新ごみ焼却施設の瑕疵担保期間が経過し、平成30年度の処理経費が31年度に確定後、豊中市の条例改正や豊中市や伊丹市の商工会議所、許可業者や事業者への説明会などの周知期間が必要。平成29年度は使用料の改定が可能な限り早急に実施できるよう、スケジュールや必要な手続きなどについて検討を行っていく。


 施設使用料を処理経費と同額に改定するだけで、年間1億円以上の歳入の増加(歳出の削減)が見込める。問題の先送りばかりせず、早急に施設使用料を処理経費と同等額に改定し、市税の投入を止めるべき!!

行政の金銭感覚ってどうなの??

～チップは市場価格で購入を!!～


 給食の残飯堆肥化(とよびーの製造)事業のために、豊中市と伊丹市の街路樹等の剪定枝のほんの一部をチップ化処理している。チップ化する剪定枝の量とその経費、一方で、焼却処理する剪定枝の量とその経費は?

A. 来年度、チップ化処理を行う剪定枝の量は**280トン**、チップ化処理及び搬送経費は、**約1900万円**を見込む。剪定枝1トン当たりのチップ化経費は、**約67850円**。焼却する剪定枝の量は**約5600トン**、1トンあたりの焼却処理経費は、**約9600円**。


 チップ化している剪定枝は全体のわずか5%で、大半の剪定枝は焼却処理している。一方、極僅かの剪定枝を1トン当たり約67850円でチップ化し、残りの大半1トン当たり約9600円で焼却処理しており、非常に無駄な事業。チップを造園業者やホームセンター等から購入すれば、約10000円/トンもあれば十分、入手できるはずで、必要なチップは安価で入手すべき!!

リサイクル事業は大赤字でも許される??


～費用対効果に重点を!!～

 資源ごみのリサイクルに要する経費と売却益の収支差益はいくらの赤字を見込んでいるのか?

A. 平成29年度予算では、再資源化経費と売却金額の収支差益は、**3億8777万円**の赤字見込み。


 約3.9億円もの収支赤字は経済的な観点も考慮しても妥当な出費と考えているのか?

A. 再資源化事業は、循環型社会の構築をめざして取り組むことで成果が現れるため、費用対効果の観点と共に、当該事業のもたらす成果が重要と考えている。


 約3.9億円もの収支赤字が見込まれ、事業の赤字額も年々増大している。プラスチック製容器包装を焼却処分するなど、抜本的に施策転換をすべき!!

クリーンランドってどんなところ??

～業務や職員についての周知を!!～

 クリーンランドフェスティバルのここ最近の来場者数の推移は? 来場者数を増やす取組みは?

A. 過去5年間の来場者数の推移は、平成24年471人、25年869人、26年694人、27年1081人、28年が1188人。新ごみ焼却施設の展望フロアの開放や、小中学生や地元で活動している諸団体に特設ステージの設置。さらに、人気の高いリユース品バザーの出展拡大や新たな舞台実演などの検討を行う。

 家族で参加したくなるような仕掛けや体験型の企画に期待。さらに、今後、駐車スペースの拡大や公園の整備が予定されており、クリーンランドの事業や業務内容、職員のことを周知する機会が増えることにも期待。

◆ 会派視察報告！！～豊中市にどう活用できるかが重要～ ◆



～兄弟都市との交流と連携～

学校間の交流事業

＜沖縄県沖縄市＞



豊中市と沖縄市の友好関係は1946年、沖縄市が第二次世界大戦の戦没者遺族のために、豊中市に霊石等を贈ったことに始まり、その後も様々な交流を続け、1974年11月3日に兄弟都市となりました。

☆神原の提案

①ウェブテレビを活用した学校間の交流

これまで希薄だった豊中市と沖縄市の児童・生徒同士の交流や連携を図るため、ウェブテレビ(ネット会議)を活用し学校間連携、児童・生徒間交流を図る

②中学生の沖縄市への修学旅行の実施

平和学習をはじめ、兄弟都市沖縄市の歴史や文化を学ぶなど兄弟都市間の相互理解と親愛の情を深めるため、豊中市の中学校の修学旅行先を沖縄市とする
(注)沖縄市と姉妹都市提携を締結している愛知県東海市は全ての中学校が修学旅行で沖縄市の中学校を訪問し、学校間交流を行っている

③教職員の連携や交流による授業への活用

沖縄市の平和学習の取り組みや、豊中市内の多数の小学校の運動会で披露されているエイサーの指導を教職員が直接受け、豊中市の教育現場で活用する

④行政職員の派遣による研修

沖縄市はとりわけ観光事業、観光戦略が充実しており、豊中市の職員を研修員として一定期間派遣し、そのノウハウを習得する



～英語教育の取り組み～

「英語立県沖縄推進戦略事業」

＜沖縄県庁＞



この事業は、国際交流拠点の形成やグローバルな教育推進地域づくりを目的に開始されました。

①優秀英語教員の認定事業

県内の中学校、高校で指導力に秀でた英語教員を英語授業マイスターに認定し、模範授業を実施

②英語能力判定テスト

沖縄県独自に英語のテストを実施すると共に、結果を踏まえた教員対象の研修会を実施

③英語でお仕事プログラム

県内の外国語と深い関わりのある機関(沖縄科学技術大学院大学、JICA沖縄国際センター、外務省、米国総領事館那覇、沖縄ツーリスト)が英語を活用する様々な仕事を紹介し、英語で仕事をすることに興味を持たせ、生徒の進路設定にも活用

☆神原の見解

特に、③のプログラムはほとんど予算がかからず、豊中市の小中学生や市内の高校、さらに大阪大学等とも連携、協力して、豊中市でも同様の事業の実施を検討すべきです。

インフォメーション

＜無所属の会代表質問予定＞

- ・自転車に関する諸課題の解消について
 - ・高齢者のバス交通について
 - ・公共空間における分煙化の取り組みについて
 - ・子ども見守りカメラ(防犯カメラ)の設置状況について
 - ・中学校の部活動のあり方について
 - ・南部コラボセンターと小中一貫校の整備計画について
 - ・千里地区再整備の方向性について
 - ・第2学校給食センターの整備について
 - ・国有地の払い下げ問題について
- などなど

豊中市議会 3月定例会の予定

- ◆本会議(初日) 2月24日(金) 午後1時から
- ◆本会議(代表質問・個人の質問) 午前10時から
3月3日(金)、6日(月)、7日(火)
- ◆常任委員会(予算審査) 午前10時から
3月9日(木) 建設水道常任委員会
10日(金) 文教常任委員会(神原在籍)
13日(月) 環境福祉常任委員会
15日(水) 総務常任委員会

- ◆本会議(最終日) 3月23日(木) 午後1時から
- ※変更する場合もございますので、議会事務局までご確認下さい。(議会事務局議事課:TEL:06-6858-2633)

「無所属の会(神原所属)」の代表質問は
3日の予定!!

インターネット中継配信中

<http://www.toyonaka-city.stream.jfit.co.jp/>



発行元 前向きひろば ～Positive Square～

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2 階
TEL&FAX:06-6854-5664

平日(土・祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

http://www.geocities.jp/positive_square/

Facebook 活用しています!!

「つながり日記」毎日HPで更新中!!

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。



前向きひろば 神原宏一郎 事務所

